柳川市の
未来を考える
ハンドブック

わがやながわ

Yanagawa is Our Home.

柳川市の歴史・文化・風土。
水郷柳川の風情と快適さを大切にしながら、
みんながいきいきと、夢や希望が叶えられる
輝くまち“柳川市”へ。

第2次柳川市 総合計画後期基本計画 概要版

2024年、「水と人とまちが輝く 柳川」へ。

柳川市は、社会のさまざまな変化にあわせて、人口減少を和らげ、
将来にわたって地域が元気になることを目指して、総合計画に取り組んでいきます。

方針 1
市民とともに
進める
計画づくり

方針 2
柳川市の強みを
活かした
計画づくり

方針 3
成果を重視した
戦略的な
計画づくり

柳川市の総合計画って？

総合計画は柳川市のまちづくりを行う上で、一番重要な計画です。
基本構想、基本計画、アクションプランの３つの軸で構成され、
これをもとに短期的・長期的に取り組んでいくことで、
将来像である「水と人とまちが輝く 柳川」の実現を目指します。



2017年 平成29年	2018年 平成30年	2019年 平成31年(令和元年)	2020 年 令和 2 年	2021 年 令和 3 年	2022 年 令和 4 年	2023 年 令和 5 年	2024 年 令和 6 年

この 5 年間が後期基本計画

柳川市 基本構想（8 年間）

基本構想は、長い目で見て目指すべきまちの将来像と、
それを実現するための基本的な方向を示すものです。

前期基本計画（3 年間）　後期基本計画（5 年間）

基本計画は、基本構想の方向をもとに、取り組む施策をくわしく示すものです。
ただし、国や社会の変化によって見直すことがあります。

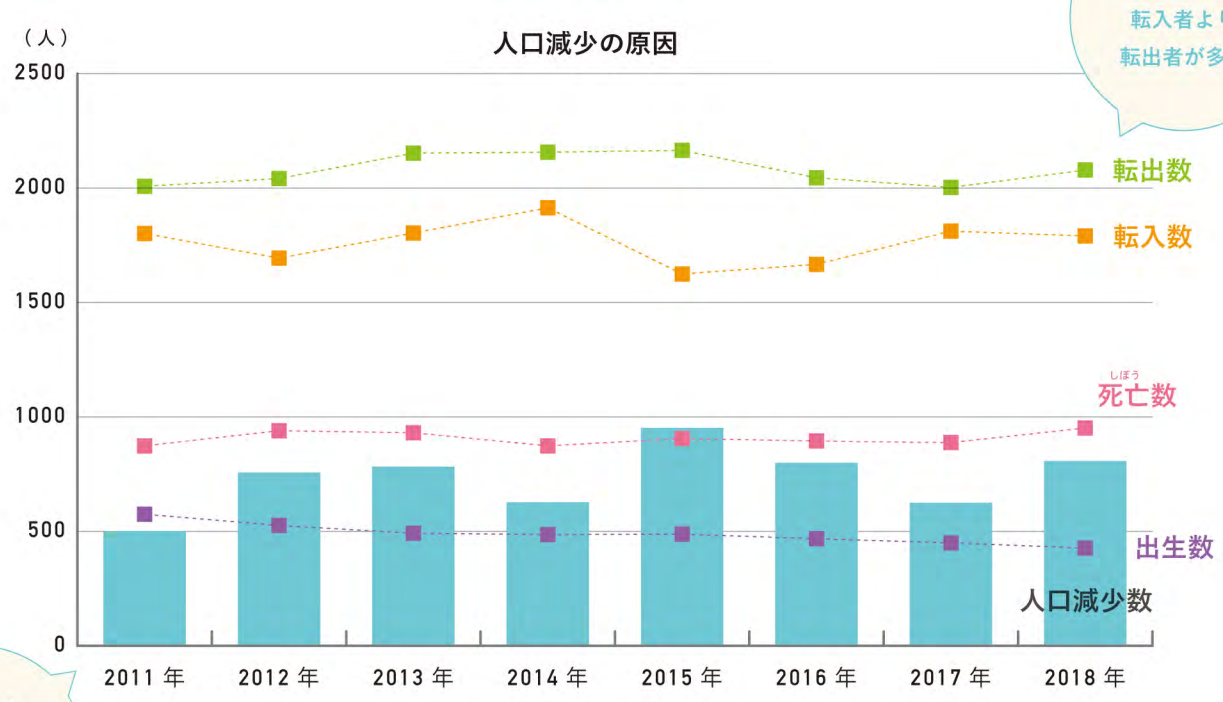
アクションプランで 1 年ごとに進み具合を確認・改善

基本計画で決められた施策を行うためのアクションプラン（計画の実施）を 1 年ごとに決めます。
改善を加え、より良い結果につながるように、PDCA サイクル（P9 参照）を活用します。

柳川市の人口と施策について知る。

柳川市の人口は毎年 500 ～ 1,000 人減少しています。2015 年に行われた国勢調査で 67,777 人。
2040 年には 47,696 人まで減ると予測されています。その理由は？

ポイント
転入者より
転出者が多い

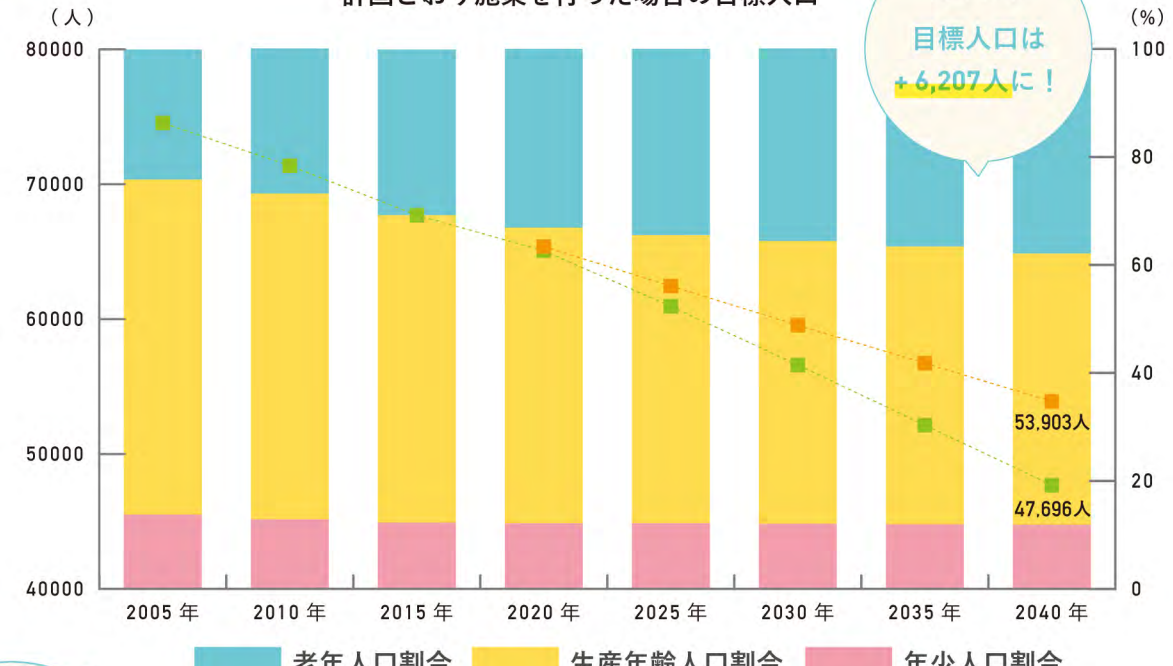


ポイント
出生者より
死亡者が多い

人口減少抑制を目指して施策を行うと…

何もしない場合の柳川市の人口予想と
計画どおり施策を行った場合の目標人口

ポイント
目標人口は
+6,207人に！



ポイント
未来の柳川市を
支える
若い世代の割合は
減っていく予想



未来の市民を増やすために
どんな施策を行ったら
いいのかな？

柳川市の将来像に向けて
細かく目標を定め、計画的に取り組んで

掘割とともにまちが形づくられ、豊かな筑後平野と有明海に育まれてきた柳川市。その独特な風景やこの歴史的な文化遺産である掘割をまちづくりに活かしながら、素晴らしいかたちで後の世代に引き継いでいくことを目指します。
そのために、４つの政策目標と、それぞれに関連する施策目標を定め、計画的に取り組んでいきます。

柳川市の将来像

「水と人とまちが輝く　柳川」

政策目標１

柳川の歴史・文化・風土に
誇りと愛着を持つふるさとづくり

政策目標2

若い世代の希望を叶え、柳川の子育て、
暮らしに幸せを感じるひとづくり

政策目標3

水郷柳川の風情や快適さに共感し
人を惹きつけるまちづくり

政策目標4

柳川の地域資源や産物を誇れる
しごとづくり

います。



政策横断プロジェクト

	活力	地域	環境	魅力
1 郷土愛とおもてなしの心の醸成		●	●	●
2 地域資源に対する誇りとこだわりの醸成	●	●		●
3 文化芸術・スポーツに触れる機会の創造	●	●	●	
4 人権が尊重される社会の形成	●			●

1 遊んで学べる子育て応援	●	●	●	●
2 結婚・出産応援	●	●		
3 手ごろな住まい応援	●	●		
4 就業や女性の再就職応援	●			●

1 水郷情緒が楽しめるこだわりの空間づくり		●	●	
2 掘割を活かしたこだわりのイベントの実施による市民満足度の向上			●	●
3 誇りとこだわりのある柳川暮らしの情報発信			●	●
4 健康寿命の延伸と誰もが安心して暮らせる保健福祉体制の充実	●	●		
5 快適な暮らしができる生活基盤の整備	●	●	●	
6 安全、安心のまちづくり	●	●		●
7 魅力ある居住環境と道路交通網の整備	●		●	●
8 住みたい柳川転入者支援				●
9 広域連携によるまちづくり				●

1 柳川に適した企業誘致と地場企業のビジネスチャンスの拡大支援	●		●	●
2 ブランド確立による稼ぐ農漁業への転換	●		●	
3 起業支援や個店の商品力強化による商業の活性化			●	●
4 強いブランド力に支えられた観光業による稼ぐ力の向上		●	●	●
5 産業の後継者づくり				●
6 大学・地元高校等との連携	●			●
7 柳川の特長を活かした舞台の整備		●		●

柳川の歴史・文化・風土に誇りと愛着を持つふるさとづくり

柳川市民が、一人でも多く「柳川が好き！」と胸を張って言えるまちにするために、いろんな取り組みを進めるよ。柳川のことを自慢でき、柳川に愛着と誇りを持った人が増えることを目指した取り組みでもあるんだ。





1 郷土愛とおもてなしの心の醸成

お年寄りも若者も、男の人も女の人も、すべての人々が柳川の歴史や文化を正しく理解することで、ふるさとを愛する心を育てる取り組みを進めます。また、柳川を出た人に対して、ふるさとを思い出し、いつかふるさとである柳川に戻るきっかけづくりを進めます。柳川を訪れる人に「柳川に行ってよかった、また行きたい」と思ってもらい、柳川のファンになってもらうよう、「おもてなしの心日本一」のまちを目指します。



2 地域資源に対する誇りとこだわりの醸成

魅力的で住みやすいまちをつくるためには、地域の絆が欠かせません。地域に住む人同士のつながりを強くし、地域での活動を活発に行うことが大切です。自分たちのまちは自分たちでつくるという、自主的な地域づくりを目指します。さらに、市民一人ひとりが、生涯にわたって自主的に学べる機会や活動の場をつくり、人材の育成を進めていきます。

3 文化芸術・スポーツに触れる機会の創造

普段から文化芸術に触れる機会を増やします。また、伝統芸能や風習、文化財を保存・活用しながら、柳川の文化に親しむ機会も増やしていきます。レクリエーション活動やスポーツに積極的に参加できるよう、快適な環境づくりも進めていきます。

4 人権が尊重される社会の形成

すべての人が人として尊重され、平等に社会に関われるよう、人権に対する市民の意識を高めていきます。学校や地域などでも人権教育に積極的に取り組み、差別のないまちづくりを進めていきます。

若い世代の希望を叶え、柳川の子育て、暮らしに幸せを感じるひとづくり

柳川に住む若い世代が、
子育てのしやすさや暮らしやすさを感じながら、
「ずっとここに住み続けたい！」と思えるように、
環境整備に取り組んでいきます。



1 遊んで学べる子育て応援



みんなが安心して子育てでき、子どもたちもいきいきと成長できるよう、子育て支援の取り組みを充実し、安心して遊べる場所も増やしていきます。

学校教育についても、地域と協力しながら、柳川ならではの授業を行い、子どもたちに夢や希望を与え、柳川に誇りや愛着を持つ人材を育てていきます。

2 結婚・出産応援

若い世代が希望どおりに結婚し、安心して妊娠・出産・子育てができる地域になるよう取り組みます。



結婚や家族に対する考え方を育むほか、結婚につながる環境をつくり、より効果的に取り組みを進めていきます。

また、妊娠期から出産・子育て期までのいろいろな要望に対応して、総合的に相談できる仕組みを整え、それぞれの段階に対応した、細かな支援を進めていきます。



3 手ごろな住まい応援

若い世代が安心して働けること、また、職場と住まいとの距離が近いことによって、子育てや家族の団らんを楽しめる、時間にゆとりのある生活を実現します。

通勤・通学しやすい環境を整備するほか、子育て世帯や市内の企業に就職した人など、若い世代の住まいに関わる負担を減らすような支援を進めていきます。

4 就業や女性の再就職応援

若者が夢を持ち、新しい考え方や工夫が活かされ、妊娠や出産で一度仕事を辞めた女性も新しいチャレンジができる「働きやすさ」「暮らしやすさ」を実現し、また、柳川に住んでいる学生が地元で就職し、これからも住み続けてもらうような支援を進めます。

水郷柳川の風情や快適さに共感し人を惹きつけるまちづくり

市民１人ひとりが**柳川の魅力を伝えていくことも大切**。市外の人も魅力を感じて、柳川に住みたいと思う人が増える…という良い流れになることが理想なんじゃ。そのために、**柳川のいい所の情報発信や、転入してくる人の支援**などに取り組んでいくのじゃ。



1 水郷情緒が楽しめるこだわりの空間づくり

2 掘割を活かしたこだわりのイベントの実施による市民満足度の向上



掘割が縦横にめぐり、その独特の景色が魅力の柳川市。この景色をあとの世代にも残していきます。きれいな水を保つため、市民の意識を高め、環境を維持します。また、独特の景色や癒しの空間を与えている掘割は、時には祭りや行事イベントの舞台としても活用されています。この掘割の良さを、市外の人に伝えられるように、市民が掘割に親しむ機会を増やしていきます。

3 誇りとこだわりのある柳川暮らしの情報発信

柳川には、歴史的な場所やまちなみ、掘割、祭りなどの文化遺産や、戦国武将など偉人を世に送り出してきた地域性やさまざまな農水産物など、他に誇れる魅力があります。その資源を活かし、柳川のイメージアップにつながる情報を伝えます。

4 健康寿命の延伸と誰もが安心して暮らせる保健福祉体制の充実

高齢社会の中、生きがいを持って社会に参加できる仕組みづくりを進め、地域や社会で、サポートするまちづくりを目指します。健康で安心した生活を送るため、病気の予防や医療体制を強め、幸せに暮らせるよう福祉体制も充実させます。

5 快適な暮らしができる生活基盤の整備

7 魅力ある居住環境と道路交通網の整備

生活の基盤になる上下水道の整備やゴミ処理、空き家対策を進めていきます。市民にとって住みやすい環境づくりのため、安全で便利なまちづくりを進めていきます。また、道路整備を進め、交通の便をより良くしていきます。

6 安全、安心のまちづくり

災害の被害を少なくする対策や、詐欺などの被害にあわないよう情報提供や相談の受付を行います。防犯・交通安全意識も高めていきます。

8 住みたい柳川 転入者支援

柳川市を生活の場として選ぶ人を増やし、住んでもらうために、「柳川市に住みたい」という人に対して、必要な情報を発信したり、サポート体制を強めていきます。

9 広域連携によるまちづくり

国、県、関係自治体などと連携したまちづくりを進めます。

柳川の地域資源や産物を誇れるしごとづくり

柳川の資源をさらに良いものに。強いブランド力で柳川市の魅力を発信すれば、地域資源を活かした産業で「稼ぐ力」にもつながるんだ。柳川市は、その**産業競争力を強め、後継者づくりにも取り組んでいくよ。**



1 柳川に適した企業誘致と地場企業のビジネスチャンスの拡大支援

働く場をつくるため、地元の企業に対しては事業をより大きくするための支援を進めます。また、外部の企業も進出しやすい環境づくりを行い、積極的に呼び込んでいきます。産業や地元高校、大学などが協力し、新しいビジネスチャンスが生まれることを目指していきます。



2 ブランド確立による稼ぐ農漁業への転換



農漁業を「稼ぐ力」に変えるため、経営する組織を法人化や協業化したり、効率よく作業できるような取り組みを進めます。生産物の価値をより高めるため、加工品の開発を進め、消費者が求める商品づくりを行います。また、ネット販売や輸出など、販売ネットワークを広げ、収入アップにつなげます。



3 起業支援や個店の商品力強化による商業の活性化

魅力ある商店街をつくったり、空き店舗などを活用した新しいお店などをサポートすることで、商業をもっと盛り上げていきます。魅力あるお店づくりを支援し、お店を出しやすい環境を整えたり、経営や商品力に関する相談体制を充実させます。



4 強いブランド力に支えられた観光業による稼ぐ力の向上



国内外に向けて、役立つ情報を発信し、観光客を取り込んでいきます。既にある観光資源だけではなく、新しい観光資源を見つけ出したり、新たなお土産品を作ったり、周って楽しめるルートをつくるなど、柳川の魅力を高めていきます。また、観光客の満足度を高めるため、一か所でいろいろな相談に対応できる組織づくりも進め高ていきます。

5 産業の後継者づくり

次の世代を担う新たな労働者を確保するため、仕事に就くことに関する相談や職業体験の整備、給付金の支援などの取り組みを行います。また、後継者を育てるために、働きやすい環境づくりなどにも取り組んでいきます。

6 大学・地元高校等との連携

就職や産業、スポーツなど柳川の課題を解決するため、学校や金融機関などと協力し、地域を盛り上げていきます。

7 柳川の特長を活かした舞台の整備

優れた農地と、都市としての機能を備えた市街地をしっかりと分け、計画的な土地利用を進めていきます。

目標を達成するため
5年間の政策横断プロジェクトを設定

活力強化プロジェクト～市民が主役となるまちづくり～

まちづくりを支える大きな柱は、市民の「活力」です。その活力を生み出すためには、市民の誰もがいきいきと快適な暮らしを送ることが重要です。そのために必要なことは、子育てや教育、買い物、福祉など生活に直結する環境を充実させること。今後の柳川を担っていく子どもや女性、若い世代が今まで以上にまちづくりに参加することで、誰もが住みやすいまちづくりを進めていきます。

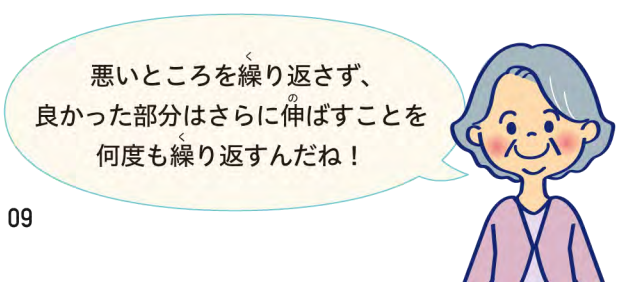
地域力強化プロジェクト～個性ある地域づくり～

地域のために何ができるのか、何をしていかなければならないのかを地域住民が自分たちで考え、行動することが求められます。そのために、まずは市民と行政が役割を分担し、コミュニティセンターを拠点として、市民が自分で取り組む「自助」やみんなで取り組む「共助」を行い、地域をより良くする活動を行うことで地域ごとに特色をもち、安心して暮らし続けられる個性ある地域づくりを進めていきます。

PDCAサイクルでより効果的に
取り組みを進めます。



PLAN…目標と計画を立てること。
DO… 立てた計画を実際に実行すること。
CHECK… 実行を評価すること。
ACTION… 計画に改善を行うこと。



します。



環境共生プロジェクト～自然あふれるまちづくり～

水質改善、鳥獣被害といった環境に関する対策・課題が近年多くなっています。特に本市の特徴である水辺の景観や掘割を守っていくことは強く求められています。そこで、今後も「水郷柳川」として持続するまちづくりのために、環境の保全を市全体として取組むものとする意識をつくることで、掘割や景観の保存・活用、また、環境改善により農漁業などの１次産業の安定化にもつなげ、持続可能なまちづくりを推進していきます。

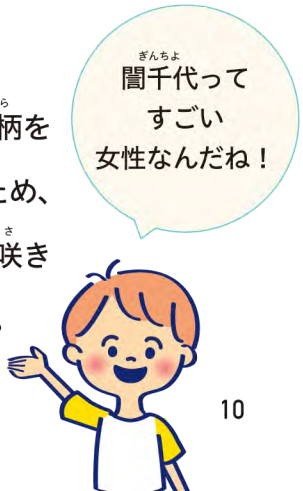
魅力強化プロジェクト～立花宗茂によるまちづくり～

現在、大河ドラマを撮影してもらうため、柳川市と関係団体で一丸となって取り組んでいるところです。これは単に大河ドラマを柳川で撮影してもらうことだけが目的ではありません。柳川市の先人である立花宗茂と誾千代の生涯や生き様を学ぶことで、地域の誇りを持ち、次の世代に受け継いでいくことで、持続可能なまちづくりを進めるものなのです。また、この活動を通して、柳川市の認知度を高め、産業を盛り上げたり道路交通網などを整備したりすることで、まちの魅力を高めていきます。



立花宗茂とは？

豊臣秀吉から「東の本多忠勝、西の立花宗茂」と評価され手柄を立てて、柳川藩の藩主になる。関ヶ原合戦で西軍についたため、領地を失ったものの、徳川家にも認められ、柳川藩主に返り咲きました。誾千代はその妻で日本史上、唯一確認できる女城主。



柳川市も取り組んでいます

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs（エスディージーズ）とは、2015 年に国連サミットで採択（さいたく）された 17 のゴールと 169 のターゲットで構成される「持続可能（じぞくかのう）な開発目標」のことです。このゴールには「地球上の誰一人として取り残さないで、世界中のみんなが幸せに暮らしていけるように」という決意が込められています。

柳川市でも総合計画はSDGsに基づいた取り組みとして、現在行っている各施策（せさく）の方向性にSDGsのゴールを明記します。



柳川市 総務部 企画課

〒832-8601 福岡県柳川市本町 87 番地 1

0944-73-8111

https://www.city.yanagawa.fukuoka.jp/

R2.3 月